

# 地下式プラスチック貯留材 雨水貯留浸透施設「クロスウェーブ工法」



(社)雨水貯留浸透技術協会 第9号技術評価認定取得

- 開発に伴う調整池・雨水利用などに利用できます。
- 空隙率95%以上のクロスウェーブ・ハイ発売開始！(2009年6月1日)

✚ 信頼の実績・・・全国実績 2104件以上 645,000m<sup>3</sup>以上 (2010年1月現在)

✚ 安心の構造・・・連続した接合面を有しない断面構造

地上部にかかる荷重を分散して基礎底面

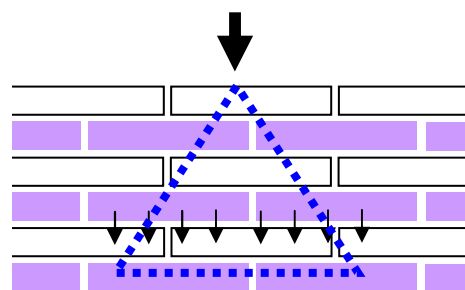
に伝えるため安定性抜群！

レベル2に相当する地震動でも安全

✚ 責任施工・・・豊富な施工実績を誇るスタッフ

による責任施工

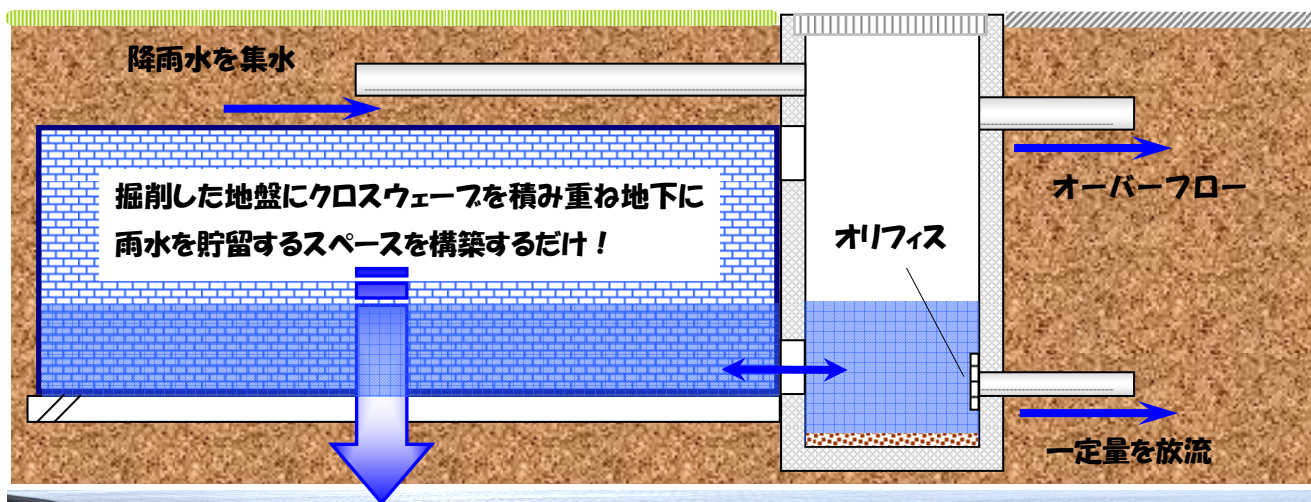
断面図



接続部材を一切使用しません

## ◇構造概念図(調整池として)

上部は公園、駐車場等として利用可能



千鳥配置構造により土木安定性抜群！ 水平土圧に非常に強い

## **特定都市河川浸水被害対策法**

「**雨水浸透阻害行為許可等のための雨水貯留浸透施設設計**

・**施工技術指針（新川流域編）」**における

**雨水貯留浸透施設「プラスチック貯留材」**に対応

### **こんなときに「クロスウェーブ」をご検討下さい**

- **プラスチック貯留材（樹脂性貯留材）**使用による**地下貯留槽**を検討したいが、構造的に問題ないのか不安。
- **特定都市河川浸水被害対策法**に対応した**雨水流出抑制施設**もしくは**雨水貯留浸透施設**の設置を検討したい。
- 浸水被害地域の軽減策の一環として公共用地（既設の公園・学校等）の地下を活用して**地下式調整池**の設置を検討したい。
- 表面貯留で**雨水貯留**を計画しているが、計画平面だけでは必要貯留量すべてを確保できない。
- **地下調整池**をコンクリート方式で検討しているがコストが合わない。
- 敷地を有効に活用したいため駐車場下に**地下式調整池**を検討したい。
- 排水先の高さ関係から、極力**雨水貯留浸透施設**の厚みを小さくしたい。
- 既設のオープン（掘り込み式）調整池の機能を維持したまま上部利用を検討したい。